

インターバンクの声（2015 年 12 月 11 日）

昨日のアジア時間は、日経平均が前日から大幅安で始まり、ドル円も仲値の発表が済んでも円買いが進んでいたもので、これは 121 円割れもありかと心配だった。日経平均の下げ幅が縮小したのは朝方一時的で、終日下げ相場だったが、ドル円は夕方に向けてどうにかドルを買い戻す動きが優勢になってくれた。しかし、欧州勢が参入してくると再び円買いが優勢となり、原油安も続いているとあってリスク回避の円買いが再び始まってしまった。アジア時間にどうにか反転した後、再び 121 円割れを窺うような円買いの勢いを止めてくれたのは、ニューヨーク・ダウの 4 日ぶりの反発と米国債利回りの上昇だったかも知れない。とにかく今週は原油価格の下落に伴って市場が混乱気味になっていたこともあり、一部からは米連邦公開市場委員会（FOMC）の利上げも再び延期かとの声も出始めていたようだが、週後半に来てようやく落ち着いた相場になって来た。中国や米国の指標結果に波乱がなければ、いよいよ FOMC の結果待ちだ。

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複写もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。